

環境報告書（第五回）

平成20年5月30日
環境管理責任者

第83期(H19年度・19.5/21～20.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動について、日頃からご支援を頂き誠にありがとうございます。
当社足立生産センターにおける環境マネジメントシステム(EMS)の状況について今年度よりの新目的・目標も加えて報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	予防保全活動の継続実施、不注意によるロスミス損紙発生を最小限に抑えて、好実績だった82期の1%減達成にむけて活動したが、残念ながら達成できなかった。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	製品にならない生産活動を削減(損紙率の低減)し、また消灯・冷暖房温度管理・機械停止時運用方法の改善を含め削減活動を実施した。 電気については僅かながら達成することが出来なかったが、ガスについては熱量減による使用量増加も危ぶまれたが、機械停止時の乾燥炉完全ガス停止を心がけた結果、目標を達成する事ができた。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	今年度より新規に目的目標とした。インキ在庫の適格な把握と発注意識の改善により、残肉が減少し廃棄量も抑えることができた。結果廃棄物処理代の軽減に繋がった。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	今年度より新規に目的目標とした。82期実績10%減のかなり高水準の目標を設定したが、残念ながら達成できなかった。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを中心に、随時外部教育機関へ派遣し印刷技術・知識の向上を図っているが、同時に、環境活動(力量)のアップ改善へもつなげている。
- 本年も含め3事業年度に亘り資源を投入し、印刷機オーバーホールを実施中。その中でガス脱臭装置の燃焼温度を下げる事が出来、ガス使用量の削減が期待される。また、機械予防保全の意味からも効率よい運転が期待でき、損紙低減、省エネ運転につながる。
- 冷却水チラーポンプのインバーター化とチラー効率アップのためドレン排水の再利用も検討中。
- エネルギーコストの上昇により工場運営を圧迫する中、従業員の昼休み時間帯を13時～14時にすることにより、稼働時間の電気料金削減活動も併せ実施している。
- 諸資材の高騰に対処するため、使用量削減についても活動中だが、各資材殆どが石油製品なので資源の有効活用にも繋がる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を更に目指す所存です。